

会社情報

(2018年9月30日現在)

● 会社概要

商号	ディーエムソリューションズ株式会社	従業員数	332名
証券コード	6549	事業内容	■ダイレクトメール及び宅配便の発送をワンストップで行う発送代行事業 ■コンテンツマーケティングやSEOコンサルティングサービス及び自社メディアサイトの運営等によるインターネット広告事業
設立	2004年9月15日		
資本金	2億2,183万円		
本社所在地	東京都武蔵野市御殿山1丁目1-3 クリスタルパークビル2F		

● 役員

代表取締役社長
取締役副社長
取締役 デジタルマーケティング事業部長
取締役 ダイレクトメール事業部長
取締役 人事総務部長
取締役 パーティカルメディア事業部長
取締役※¹
常勤監査役※²
監査役※²
監査役※²

花矢 卓司
福村 寛敏
小林 剛司
勝山 純一
在川 浩太
木村 和央
松藤 悠
安田 仁裕
齋藤 哲男
高見 之雄

※¹ 社外取締役 ※² 社外監査役

● 拠点情報

愛知県

- 名古屋営業所

大阪府

- 大阪営業所
- 大阪メールセンター

福岡県

- 福岡営業所

東京都

- 本社
- 新宿オフィス
(2017年12月オープン)
- 三鷹メールセンター
- 八王子第1メールセンター
- 八王子第2メールセンター
- 八王子第3ロジスティクスセンター
- 日野フルフィルメントセンター
(2017年7月オープン)

神奈川県

- 横浜営業所

ホームページのご案内



当社は、株主・投資家の皆様にタイムリーで分かり易い情報発信を目指し、ホームページの充実を図っております。
是非一度お立ち寄りください。

ディーエムソリューションズ IR

検索

スマートフォンで
IRサイトへ



ディーエムソリューションズ株式会社

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1丁目1-3 クリスタルパークビル2F



証券コード:6549



Business Report

ディーエムソリューションズ株式会社

2019年3月期 中間報告書 2018年4月1日～2018年9月30日

特集1 花矢社長に聞く 今期の施策と進捗状況

特集2 取締役インタビュー フルフィルメントセンターで目指す収益拡大

つなぐ。



目次



- P.1 当社の事業領域
- P.2 株主の皆様へ
- P.3 特集1 花矢社長に聞く 今期の施策と進捗状況
- P.5 特集2 取締役インタビュー フルフィルメントセンターで目指す収益拡大
- P.7 財務ハイライト
- P.9 ディーエムソリューションズ ラウンジ
- P.10 株式の情報
(株式の状況・所有者別株式分布状況・大株主の状況・株主メモ)
- 裏表紙 会社情報(会社概要・役員・拠点情報)／
ホームページのご案内

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年3月期第2四半期の事業活動と業績について株主の皆様にご報告させていただきます。

売上の9割近くを占めるダイレクトメール事業（DM事業）においては、既存、新規ともに営業活動が好調に推移しました。また、インターネット事業は、パーティカルメディアサービスを中心に前年度下期の低迷から回復基調となりました。

その結果、売上高は5,738百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益は162百万円（同13.9%増）、経常利益は162百万円（同16.3%増）、四半期純利益は111百万円（同29.5%増）となりました。下期以降は、DM事業においてはターゲット別の戦略を実行し、インターネット事業においては、引き続き競争力を強化してまいります。将来への投資も行いつつ、両事業ともに通期計画の確実な達成を目指します。また、自動車情報サイト「MOBY」の事業譲受をいたしました。すでに月間訪問者数600万人を誇る人気サイトですが、当社のSEO、インターネット広告のノウハウを活かし、さらにサイト価値の向上や広告収入などの収益UPを目指してまいります。今後もネットとリアル両方のサービス提供が可能な社内インフラを有する特徴を活かし、両事業のシナジーを追求、他社との差別化を行い、事業拡大と企業価値向上に励んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月吉日
代表取締役社長
花矢 卓司



花矢社長に聞く 今期の施策と 進捗状況

代表取締役社長
花矢 卓司

Q. 今期の重点施策について教えてください。

A. **ダイレクトメール（DM）事業で
4つの戦略を実行します。**

ターゲットとなる顧客層ごとに当社の優位性を活かした4つの戦略を実行しております。

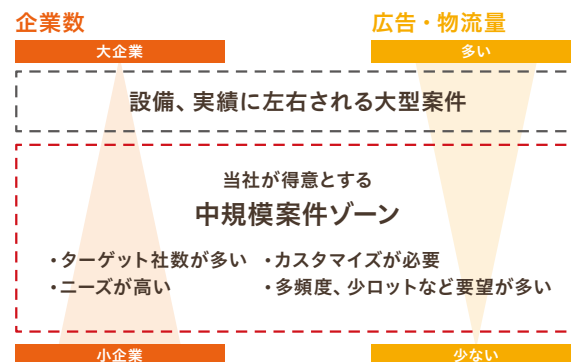
一つ目はロジスティクスセンターのさらなる機械化です。処理能力の増強を武器にした大型案件の獲得がねらいです。上期には大企業顧客への提案を開始し、引き合い件数が増加しました。下期は確度の高い営業先に的を絞り、複数の大型案件の受託に注力します。

二つ目の施策として、2017年に開設したフルフィルメントセンターの稼働率アップが挙げられます。上期は稼働率の上昇に伴いオペレーション力も向上しました。下期も継続して効率化を進め、フルフィルメントセンターの収益性をさらに向上させます。同時に営業を強化して受託量の増加を図ります。

三つ目は充実した営業体制による市場シェアの拡大です。中小規模の案件は前期に引き続き取引社数、案件数とも増加しました。他社と比べて優位な営業力、価格力により下期以降も好調を見込んでおります。

また、地方でも上期は大阪エリアが増収となり、名古屋、福岡も順調に拡大しました。下期ではさらなる成果を目指しており、この地方展開の強化が四つ目の戦略となります。

DM事業の
4つの戦略

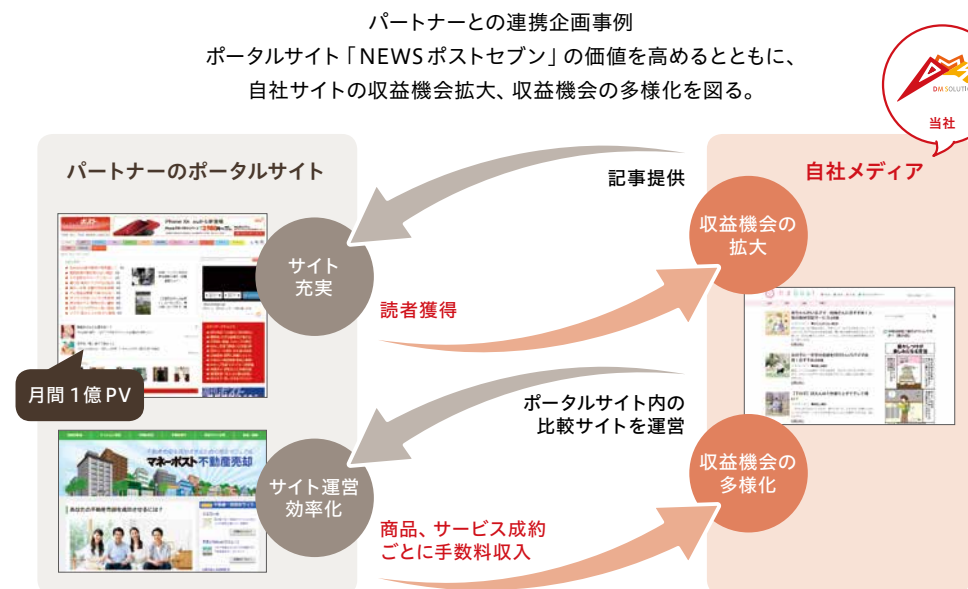


Q. インターネット事業についてはいかがですか？

A. **バーティカルメディアサービスで収益の多様化、
安定化となるパートナーとの連携企画を強化しています。**

特定の分野で複数企業の商品をランキング形式で紹介するWebサイトを自社で運営しております。この分野特化型のバーティカルメディアを、パートナー企業のメディアと連携させることで、相乗効果によるWeb集客力の向上を図っています。上期では小学館『NEWSポストセブン』や『マネーポストWEB』をはじめとしたパートナーとの連携企画が収益に貢献しました。下期もこうした共同運営形式のメディア運営を拡大してまいります。

両社に Win-Win のビジネススキーム



Q. 通期の見通しを教えてください。

A. **前期比7.8%の増収を見込んでおります。**

ダイレクトメール事業では前掲の4つの戦略を着実に実行し事業収益として2桁の増収、さらなる収益性UPを目指します。また、インターネット事業では、バーティカルメディアサービスの強化を行うとともに、事業譲受をした自動車情報サイト「MOBY」のサイト価値向上にも取り組み事業を拡大していきます。両事業をしっかりと運営し当初計画の確実な達成を目指してまいります。

フルフィルメントセンターで 目指す収益拡大

大型案件の受託を可能にする新たな物流拠点。

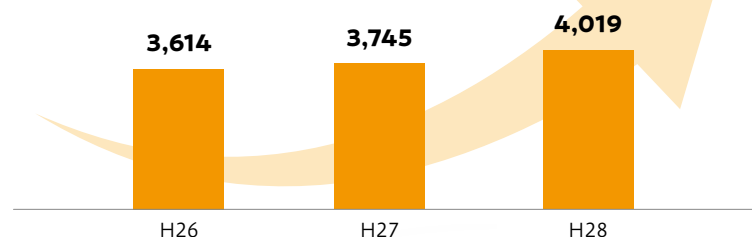
成長が続くネット通販ビジネスを物流面で支援するのが昨年7月に開設した「フルフィルメントセンター」です。宅配便、小型荷物等の保管・管理、梱包作業を一括受注できる専用施設で1,900坪という広大な敷地面積を整備しています。この規模を活かした高い受託能力と処理能力が強みとなっています。



稼働後1年を経た 現在の状況。

フルフィルメントセンターの受託案件数は着実に増加しています。特に大企業の新規顧客を獲得する上で高い優位性があり、取引社数の増加にも貢献しています。また受託案件数が増えたことに伴い、稼働率もアップしました。

宅配便取扱個数の年度推移（単位：百万個）



出所：平成29年度電子商取引に関する市場調査報告書（経済産業省）
<http://www.meti.go.jp/press/2018/04/20180425001/20180425001-2.pdf>



ビジネスの上流から下流まで ワンストップで支援できる体制に。

当社のもう一つの柱であるインターネット事業では、ネット通販に必要なサイト制作、マーケティングによる集客支援のサービスがあります。サイトで購入された商品の保管・管理・梱包までを行うフルフィルメントセンターと連携することで、ネット通販ビジネスの上流から下流までを一括受託することが可能になります。今後はネットとリアル、当社の2事業のシナジーを活かした収益力の高いソリューションを構築していくことで、当社グループの成長に貢献してまいります。

取締役 ダイレクトメール事業部長
勝山 純一



フルフィルメントサービスについて

通信販売やECサイトにおいて発生する、商品の受注から決済に至るまでの業務全般を一般的にフルフィルメントと言います。具体的には梱包・発送業務や入金管理、在庫管理、物流管理、顧客管理などがあり、こうした業務を行うのがフルフィルメントサービスです。バックヤードの業務を一括管理することで、全体を効率化し、よりスムーズにエンドユーザーへ商品を届けられるといったメリットがあります。



- 商品開発
- ECサイト設計
- 集客活動
- 受注・問い合わせ対応
- 発注・仕入れ
- 在庫管理
- 商品発送
- 代金回収
- お客様情報分析

フルフィルメント
領域

財務ハイライト

売上高

5,738 百万円
(前年同期比 13.6% up)

営業利益

162 百万円
(前年同期比 13.9% up)

1

2019年3月期
第2四半期(累計)
業績のポイント

！前年同期比で増収、増益を達成

ダイレクトメール事業においては、強みの営業力が功を奏し、既存、新規ともに受注活動が好調に推移しました。インターネット事業においては、コンテンツマーケティング、バーティカルメディアサービスに注力し、低調だった前年下期と比べて収益が回復し、利益面で業績貢献しました。この結果、前年同期比で約14%の増収、営業増益となりました。

2

2019年3月期
通期業績見通し

！上期の好調を維持し、通期計画を着実に達成します

将来に向けた投資もしっかりと行いながら、ダイレクトメール事業、インターネット事業とも、期初よりも好調に推移した上期の勢いを維持してまいります。またフルフィルメントサービスをはじめとした事業拡大に向けた取り組みも、上期に引き続き積極的に展開していくことで、通期業績の確実な達成を目指してまいります。

IRサイトで
さらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明会資料などさらに詳しい決算情報をご覧になれます
<https://www.dm-s.co.jp/ir>

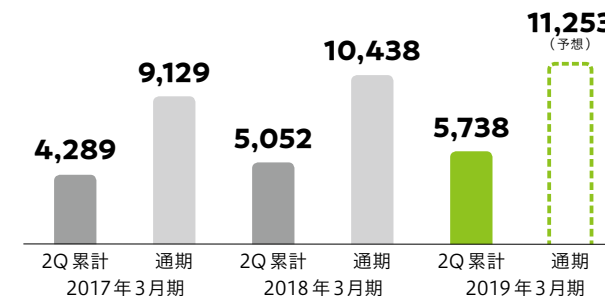
ディーエムソリューションズ IR

検索

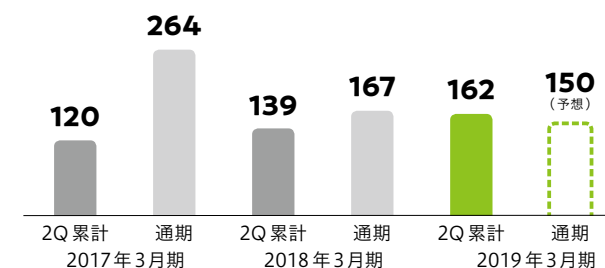


(単位:百万円)

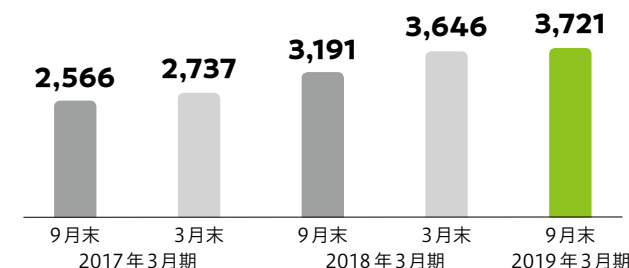
売上高



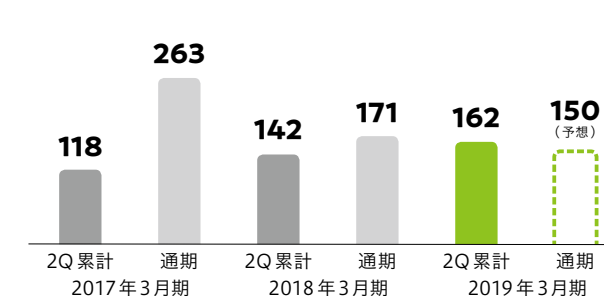
経常利益



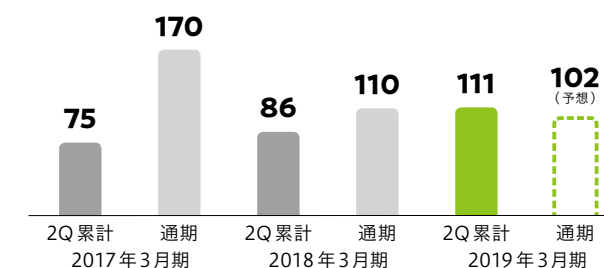
総資産



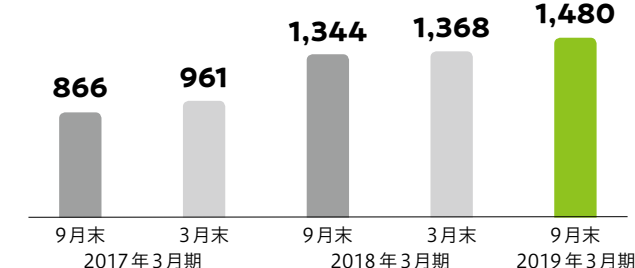
営業利益



当期(四半期)純利益



純資産





事業のトピックスやお知らせなど、
株主様とのコミュニケーションコーナーです。

● 株主優待制度

毎年、3月31日現在の株主名簿に記載されている株主様のうち、当社株式を2単元（200株）以上を保有され、且つ1年以上継続して保有されている株主様を対象に株主優待商品を進呈します。

次回、2019年3月期 株主優待（2019年6月進呈）について

当社株式2単元（200株）以上保有いただき、且つ、2018年3月31日、9月30日、2019年3月31日各時点での株主名簿に連続して記録された株主様に進呈となります。

※今後、仕入れや在庫の状況によって商品が変わる場合がございます。



株主優待予定商品

4,000円～5,000円相当の
エグモントハニー社
マヌカハニー
UMF10+ 250g 1瓶



数字でみる

ディーエムソリューションズ

1億3,000万

ディーエムソリューションズが1年間で取り扱っているダイレクトメールの通数です（2017年度実績）。日本の人口が約1億2,650万人（2018年4月実績）ですから、単純に数字だけをあてはめると、すべての日本人に年に1回はディーエムソリューションズが扱うDMが届く計算になります。

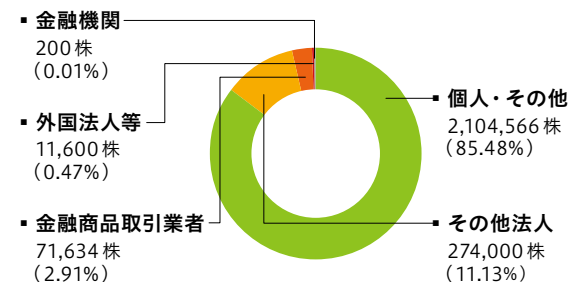
株式の情報

（2018年9月30日現在）

● 株式の状況

発行可能株式総数	8,800,000株
発行済株式総数	2,462,000株
株主数	1,150名

● 所有者別株式分布状況



● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日 （そのほか必要がある場合は予め公告いたします）
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL：https://www.dm-s.co.jp やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

● 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
花矢 卓司	796,000	32.33
福村 寛敏	536,000	21.77
アセットインクリーズ株式会社	260,000	10.56
松本 和久	159,800	6.49
株式会社SBI証券	42,400	1.72
ディーエムソリューションズ社員持株会	39,400	1.60
勝山 純一	34,000	1.38
小林 剛司	34,000	1.38
中村 剛	30,200	1.22
在川 浩太	24,000	0.97

小数点以下第3位四捨五入

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
連絡先（郵送先） および 電話照会先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711（フリーダイヤル） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
各種事務手続き	詳しくは、こちらのページにてご確認ください。 https://www.tr.mufg.jp/daikou/